自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームふれあい香貫
（ユニット名）	1Fユニット
所在地 （県・市町村名）	静岡県沼津市楊原530-16
記入者名 （管理者）	鈴木 教夫
記入日	平成20年1月15日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（　　部分は外部評価との共通評価項目です　）

取り組んでいきたい項目

	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設（平成18年3月）当初、スタッフのみなさまに理想の施設像をアンケートして集計。理念はそれをもとに作成しました。そしてユニット入口に掲示、日ごろよりスタッフのみなさまへ話しております。理念「みんな仲良く集う毎日」	○	日々理念に立ち返り、良い環境を作り上げていきたいです。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフのみなさまが入職するとき、オリエンテーションにてまず話しております。また理念に続くものとして、「素直な気持ちでまわりの方を謙虚に認め、ほかの方を非難・批判することのない生活環境」を目指し、日々取り組んでおります。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族さまが面会にいらっしゃるとき、また毎月お送りするおたよりのなかで、入居者さまがどのような日常を過ごしているかお伝えしております。地域のみなさまへは、組長会議に出席、回覧など配布、そのとき運営推進会議の案内もあわせてお知らせしております。	○	ご家族さまや地域のみなさまへのアピールを続けていきたいです。
2．地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設前の道路が近隣中・高等学校の通学路ということもあり、下校時間には外へ出て、子どもたちの元気な顔を見ては気軽にあいさつ、道行く人へも声をかけております。	○	これからも積極的に地域へ溶け込めるよう活動していきたいです。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	納涼祭やもちつき大会、季節の行事などには、自治会・子供会などへ知らせ、参加を呼びかけております。また、年に1度ある近くの神社のお祭りにて、子供会のおみこし・盆踊りのメンバーが施設駐車場で踊りを披露してくださってます。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	沼津市民体育館の指導員の方をお招きし、日ごろ健康において注意すること、腰痛を緩和する体操など教えていただく機会を設けております。	○	さらに開催する回数を増やし、地域のみなさまへの参加を呼びかけていきたいです。
３．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年2月15日の初めての外部評価のとき、いろいろ改善すべき内容をうかがいました。それをもとに、1つ1つ取り組んでおります。	○	生活環境から改善に取り組み、申し送りノート・ヒヤリハットノートなど、それぞれサインができるよう書式も調整しました。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族さまをお招きし、日ごろ感じていることなどお話ししていただいてます。また、近隣の他社グループホームの管理者・計画作成担当者のみなさまにも毎回参加をお願いし、いろいろなアドバイスをいただいております。	○	運営推進会議を活用し、幅広く意見がいただける機会を増やしていきたいです。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課の方、地域包括支援センターのみなさまより、あたたかく支えられております。グループホーム連絡会議（かぬき地域）やケアマネジメント・サポート会議（市役所にて毎月開催）などのバックアップ体制を活用し、ほかのグループホームの方と気軽に連絡・相談などができるようになりました。	○	ほかのグループホームの方より教えていただき、運営推進会議において事故報告・ヒヤリハット報告もあわせてお伝えするようになりました。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度は、ご家族さまから相談いただいたとき、意向に沿えるよう協力させていただきます。実際にご家族さまより依頼があり、家庭裁判所へ提出する書類を整えたこともあります。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日ごろより入居者さまと会話する機会を多く持ち、コミュニケーションを図るよう努めております。また入居者さまの変化について、スタッフ間で情報共有するよう、申し送りノートに記載、口頭にても申し送りしております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
４．理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時書面を読み合わせ、説明させていただいております。またわからないことがあるとき、すぐに説明、理解していただけるよう努めております。解約について、実際にはありませんが長期入院のときなど、施設側から解約を申し出ることなく、すべてご家族さまの意向に合わせ行うようにしております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろ感じる不安・不満などは、ご本人さまから直接お話をうかがい、解決へ向けて取り組んでおります。1Fは男性が多く、ときに言動が大きくなることもありますが、そのたび仲裁へ入り、話し合いにて解決しております。	○	これからも素早い対応をしていきたいです。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態について、急変のときは即時連絡、病院受診するようにしております。また、金銭管理やスタッフの異動などについて、毎月お送りするおたよりへ記載し、お知らせしています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書に明示しておりますが、玄関入口に意見箱を設け、また電話での相談には、丁寧かつ迅速に対応させていただいております。	○	これからも素早い対応をしていきたいです。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	些細な言葉や小さな意見などを耳にしたとき、その提案を真摯に受け止め、改善していけるよう取り組んでおります。また、日常気軽に意見が言い合える職場環境を今後も継続していきたいです。	○	これからも積極的にスタッフのみなさまの意見を反映、改善へ向けて取り組んでいきたいです。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務調整について、体調不良による欠勤などのときは代役を依頼するなど、素早い調整を図っております。またそのときどきに応じて、勤務延長を依頼しております。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・離職について、最小限にとどめるよう定期的に個人面談を開くなど、スタッフまた一個人としての生活への不安・悩みをうかがう機会を設けております。入居者さまの誕生日はもちろん、スタッフのみなさまの誕生日もお祝いしております。	○	実際に異動のためスタッフ間のバランスが一時的に変わりますが、長期で考えますと良い刺激・効果が現れております。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
５．人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修として、社内研修委員会により、そのときどきに合った研修内容を毎月開催、社内外講師による講習・グループワークなどを実施しております。また社外研修について、会社より出席要請の研修はもちろん、それ以外の研修についても自主的に参加していただけるよう、研修内容を広く公表しております。	○	より多くトレーニングの機会を設けていきたいです。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2か月に1度、かぬき地域包括支援センターによる「グループホーム連絡会議」において、率直な意見交換・相談などの機会をいただいております。また、近隣グループホームの見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上への取り組みを行っております。	○	同業他社のみなさまとの交流は、とても盛んです。これからも積極的にお互いの良いところを参考に、サービス向上へ取り組んでいきたいです。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日ごろより各グループホームを巡回、管理者・スタッフのみなさまの意見をうまく吸い上げていただいております。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日ごろより明るくあいさつを交わし、気軽に声をかけたり、優しく接してくださっています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話での問い合わせや直接来訪されての相談について、相談者の許す限り話したい内容をうかがい、入居または在宅介護についての不安など、なるべくその気持ちが緩和されるよう相談に応じております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	身内をグループホームへ入居させることは、ほぼすべてのご家族さまが初めての経験なので、質問するのを遠慮されることのないよう、話しやすい雰囲気を心がけております。	○	気軽に声をかけ、日ごろよりコミュニケーションが図れるよう努めていきたいです。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がないとき、近隣施設またその他サービスを紹介するよう心がけております。また相談内容についてまずは受け止め、お話を丁寧にうかがうよう努めております。	○	いろいろな相談に素早く応じられるよう、幅広く情報収集に努めていきたいです。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	在宅において生活習慣としていた内容をうかがい、それに類似した生活環境を整え、少しずつ慣れていただくため、ご本人さまやご家族さまの要望を参考にしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ユニットごと入居者さまをはじめスタッフのみなさまを家族と捉え、みんなが集まり和気あいあいとした生活ができるよう心がけております。1Fは男性が多く力仕事を一緒に行ったり、リビング前に畑があるため、苗を植えたり、水まきを毎日行い、収穫と満腹の喜びを味わっております。	○	これからもアットホームな生活を目指していきたいです。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られるご家族さまも、安心して施設での時間が過ごせるよう、気軽に話せる雰囲気づくりを心がけております。ほぼ毎日面会に来られるご家族さまと入居者さま・スタッフのみなさまがうちとけ、リビングにて会話がはずみ、良く笑みがこぼれます。	○	面会に気軽な気持ちで寄れ、楽しめる環境にしていきたいです。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	日ごろよりご本人さまやご家族さまと話し、関係の理解に努めております。	○	これからも継続していきたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの人に会ったり、行きたい場所があればお連れし、できる限り希望に沿えるよう心がけております。買い物へ出かけることを楽しみにしている方がいて、毎日のように戸外へ出て散歩、買い物を楽しんでおります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングにてレクリエーション、会話する機会を多く持つよう心がけております。	○	明るく会話の絶えない生活を続けていきたいです。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	これまで定期的に曜日を決めて面会に来られていたご家族さまが、ご本人さまが退居されてもなお訪問したいとおっしゃる場合、歓迎して受け入れております。また気軽にお越しくださるよう、電話や手紙などにて声をかけさせていただいてます。	○	ご縁を大切にしていきたいです。
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの要望は、それぞれそのたびおうかがいするよう努めております。困難な場合でも、ご本人さまが納得されるよう時間をかけて話しております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	いままでの暮らしについて、ご本人さまやご家族さまへうかがい、施設での生活にて継続できるよう努めております。1Fは居室にてテレビ観賞を楽しむ方がいて、ときに一人の時間も大切にしております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の変化を情報収集し、総合的に把握、スタッフ間において共有するよう努めております。	○	少しの変化も見逃さないよう心がけていきたいです。
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	まずご本人さまへ要望などうかがっております。またご家族さまへもいろいろと相談、居室担当スタッフやフロアスタッフと協力しながら、作成しております。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	そのたび継続や見直しを検討、計画作成へ反映するよう努めております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスのとき、日々の変化に応じてそのたび話し合い、見直しに活かしております。		
３．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人さまやご家族さまの状況に合わせ、臨機応変に対応しております。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会の組長会議へ参加させていただき、情報を得ながら、地域のお祭りや行事へ積極的に参加しております。また、文化センターの催しなどへも出かけております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他社グループホームの方に相談したり、地域包括支援センターのみなさまの助言をいただきながら検討しております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	わからないことや困っていることなど相談、大変お世話になっております。とても良くフォローしていただいてます。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日ごろより入居者さまに変化があるとき、相談・受診をしたり、素早い連携を図っております。	○	これからも連携を密に図っていきたいです。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症について良く理解していただき助かっております。また精神科領域においてかかりつけ医（内科）の先生でわからないとき、専門医の診察を受けております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ほぼ毎日、巡回看護師の方に来ていただき、日々の健康チェックや相談を行っております。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日ごろよりより近隣病院のソーシャルワーカーのみなさまと連絡を取り、相談・情報交換に努めております。	○	これからも連携を密に図っていきたいです。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した入居者さまでも、できる限りグループホームにて生活していただけるよう体制を整えております。また入院に至った場合でも、それ以後の相談・支援を継続して行っております。	○	安心して相談していただける状況をこれからも作っていきたいです。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の変化を見て、ときにはかかりつけ医の先生に相談しながら、その後の方向性を検討しております。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	慣れ親しんだ場所を離れるダメージを最小限にするため、時間をかけて話し、転居がご本人さまにとってスムーズに受け入れられるよう十分配慮しております。いままでお一人、費用の関係にて特養へ転居された方がいらっしゃいましたが、ご家族さまとともに良く説明・納得のうえ、ご本人さまを明るくお送りしました。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1．その人らしい暮らしの支援				
（1）一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーへの配慮、丁寧な言葉かけ・対応をするよう、記録にも気をつけております。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人さまの希望を尊重、できる限り実現できるよう支援しております。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重、希望に沿った援助を行っております。ときにはゆっくりくつろぎ、団欒などしています。		
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人の趣味や着こなしを尊重しております。お一人なじみの理髪店へ月に1度通い、すっきりと気分転換して帰ってこられます。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者さまにできる限り手伝っていただき、野菜の皮むきや食器拭き、後片づけなど行っていただいてます。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人さまの希望に合わせ、楽しめるよう支援しております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の記録を残し、その間隔やパターンを把握、スムーズな誘導を心がけております。なかには自ら牛乳を飲み、排便を促す試みをしている方もいらっしゃいます。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は曜日で決まっていますが、それ以外の日にも希望があれば入っていただいてます。1F男性の入浴には男性スタッフが付き添い、会話を楽しみながら入浴しております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休息や睡眠は一人ひとりに合わせ、支援させていただいてます。なかにはソファ臥床して、くつろぐ方もいらっしゃいます。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	いままで過ごした習慣や生活歴を参考に、工作などのレクリエーションや洗濯物たたみ、食器拭きなどしていただいてます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人さまの要望に応じて、またご家族さまと相談しながら、お小遣いとして小額のお金を持って、買い物を楽しんでいただいてます。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候が安定する春や秋を中心に、戸外へ外出する機会を多く持つよう心がけております。近くに神社があり、境内が広くおにぎり持って、散歩がてら戸外で食事しております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブなど外出しながら、以前住んでいた地域を回ったり、またご家族さまによる外出もお願いしております。誕生月には、居室担当スタッフによる外出・食事も楽しんでおります。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は、その気持ちを尊重、電話の取り次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいてます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会にいらっしゃるお客さまを積極的に受け入れ、また次回も来ていただけるよう、お帰りのとき必ず声をかけております。		
（4）安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束などの行動制限は行っておりません。	○	これからも言葉による制限について、設けないよう気をつけていきたいです。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけずにおりますが、不穏な状況のときまた防犯上、一時的に鍵をかけることもあります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にリビングに必ず1人はいるよう心がけ、また万が一の事故に備え、安全に配慮しながら見守りを行っております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁などを使用していただくとき、スタッフが必ず付き添い、また保管について注意しております。	○	日々記録へ記載、物品の所在を確認するよう心がけていきたいです。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	社内事故防止・対策委員会により、事故やヒヤリハットの検証・意見交換など行い、検討を重ねております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命講習を受けたり、事故発生時の協力体制について、常に確認しております。	○	これからは社内委員会のなかの防災委員会において、救急救命講習の手配や実施補助を行い、グループ全体の技術向上を図っていきたいです。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生時などの避難訓練ほか、災害に備え食糧を蓄える収納を用意しております。	○	防災訓練を定期的に継続し、万が一の災害に備える体制を確認していきたいです。食糧備蓄もしております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	健康状態ほか日常の状況について変化があったときなど、ご家族さまに報告しております。		
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	巡回看護師と連携し、日々の体調変化を見逃さないよう心がけ、速やかにかかりつけ医へ相談・受診を行っております。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からいただく薬の指示書を日々の記録のファイルへ一緒に綴じ、いつもその内容がわかるようにしております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便の間隔など記録にて確認、巡回看護師によるチェック、排便を促す食品や便秘薬など使用しております。なかには自ら牛乳を飲み、排便を促す試みをしている方もいらっしゃいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行い、1か月に2度歯科の往診を受け、定期的に歯石除去のため歯科医院を受診しております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事量・栄養バランスなどを考慮に入れながら、食事の献立を作成・実践しております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染症など予防のため、入居者さまやスタッフは、常に手洗いとうがい・口腔ケアに努めております。また、感染症マニュアルなど整えております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンまわりのハイター消毒、トイレ周辺などのアルコール消毒を行い、清潔を心がけております。特に生ものの取り扱いには注意、購入後なるべく早く食材を使用するようにしています。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に植物をプランタで配置、ベンチなどを用意、近所の方も座って休憩しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	シンプルに必要なものを配置するよう心がけております。また入居者さまの作成した展示物など掲示しております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の空間にて布団を敷いて寝たり、ソファでくつろぐことにより休息できるようになっております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人さまの意向に合わせ、またご家族さまと相談しながら配置を考えております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は朝掃除を行うときに合わせ、窓を開放し行うようにしております。また気温の変化に合わせ、空調の温度設定を行っています。		
（2）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はできる限り障害物を置かないよう配慮、床も汚れにより滑らないよう、そのたび拭くよう心がけております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの力を尊重、達成感や喜びが得られ、日々安心して過ごせるよう心がけております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園をしたり、天気の良い日には、駐車場にあるベンチに座りながら、合唱や体操をしております。		

Ｖ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

外部のみなさま（セラピー犬・ピアノ演奏・絵手紙など）による協力を広く受け入れております。
外国人（韓国・ベネズエラ）スタッフを積極的に受け入れ、ローマ字による記録物の二重表記など、働くうえの不安が少しでも解消されるよう支援しております。
入居者さまを中心に、ご家族さま、地域のみなさま、またスタッフのみなさまの生きがいを大切に、働きやすい職場環境を整えることに力を入れております。
入居者さまと一緒にスタッフの誕生日を祝ったり、定期的に個人面談を行い、仕事以外の悩みや生活の不安をすくい上げるよう心がけております。
一方において、「素直な気持ちでまわりの方を謙虚に認め、ほかの方を非難・批判することない生活環境」を目指し、長い人生のなかスタッフのみなさまが、
この職場で働けて良かったと感じていただけるよう日々取り組み・改善していきたいです。